

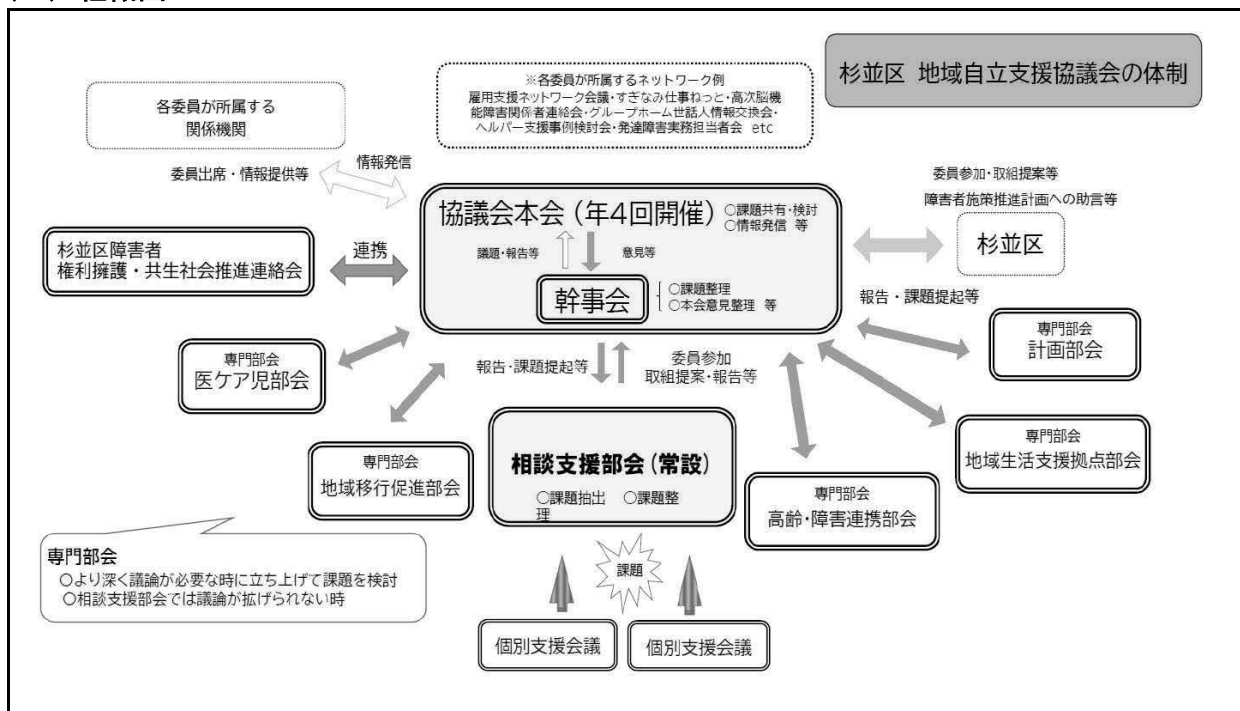
杉並区

1 地域自立支援協議会の基本事項

(1) 名称 杉並区地域自立支援協議会

(2) ホームページURL <https://www.city.suginami.tokyo.jp/s036/8248.html>

(3) 組織図



2 地域自立支援協議会の委員

(1) 委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考	経年数
1	会長	高山 由美子	ルーテル学院大学	学識経験者		16年
2		奴田原 直裕	こもれびカウンセリングルーム	障害当事者（ピアサポーター含む）		6年
3		齋藤 聡	アーツアンドクラフツ株式会社	障害当事者（ピアサポーター含む）		2年
4		上田 久美子	すまいる高円寺	障害当事者（ピアサポーター含む）		2年
5		田邊 大樹	都立中野特別支援学校（高等部）	教育関係機関		4年
6		鈴木 督	都立永福学園肢体不自由教育（高等部）	教育関係機関		1年
7		西明 久恵	杉並区社会福祉協議会	社会福祉協議会		2年
8		氷見 真敏	杉並区障害者雇用支援事業団	雇用関係機関		4年
9		小林 哲	杉並育成園すだちの里すぎなみ	障害福祉サービス等事業者		2年
10		中元 直樹	精神障害者地域生活支援すぎなみ会議（グループホームネスト）	障害福祉サービス等事業者		6年
11		阿久津 庄司	社会福祉法人いたるセンター（グループホーム）	障害福祉サービス等事業者		2年
12		相田 里香	杉並区ケアマネジャー協議会	その他	高齢分野	8年
13		関根 麻里絵	地域包括支援センターケア24方南	その他	高齢分野	2年
14		継 仁	杉並区医師会	医療関係者		10年
15	副会長	野瀬 千亜紀	すまいる荻窪	相談支援事業者		4年
16		藤巻 鉄士	すまいる高円寺	相談支援事業者		2年
17		若山 大地	すまいる高井戸	相談支援事業者		1年
18		修理 美加沙	やどり木	相談支援事業者		10年
19		早野 節子	相談支援事業所かすみ草	相談支援事業者		6年
20		佐藤 陽子	いたる相談室	相談支援事業者		2年
21		高橋 和哉	相談支援事業所ういる	相談支援事業者		2年
22		北島 沙希	あおばケアセンター	相談支援事業者		1年

No.	役職	氏 名	所 属	種 別	備考	経験年数
23		河津 利恵子	障害者団体連合会	家族・関係団体		2年
24		池部 典子	障害者団体連合会	家族・関係団体		4年
25		池部 弘子	非営利活動法人 ももの会	家族・関係団体		4年
26		厚地 朋子	いたる相談室	相談支援事業者		1年

(2) 委員構成

種 別 \ 全体会・ 部会名	全体会	相談支援 部会	地域移行 促進部会	高齢・障害連 携部会	医療的ケア児 支援検討部会
学識経験者	1				
医療関係者	1		3		5
保健所	0				
教育関係機関	2	1			2
雇用関係機関	1	1			
企業	0				
障害当事者（ピアサポーター含む）	3	4	1	2	
家族・関係団体	3				4
身体・知的障害者相談員	0				
相談支援事業者	9	8	5	3	1
障害福祉サービス等事業者	3		2	2	3
社会福祉協議会	1	1			
法曹関係者	0				
民生委員・児童委員	0				
地域住民	0				
行政職員（区市町村）	0	5	4	2	
行政職員（都）	0		1		
その他	2	1		5	2
計	26	21	16	14	17

種 別 \ 全体会・ 部会名	計画部会	地域生活 支援拠点 部会
学識経験者	1	
医療関係者		
保健所		
教育関係機関	1	
雇用関係機関	1	
企業		
障害当事者（ピアサポーター含む）	1	2
家族・関係団体	6	1
身体・知的障害者相談員		
相談支援事業者	2	6
障害福祉サービス等事業者	2	8
社会福祉協議会		
法曹関係者		
民生委員・児童委員	1	
地域住民		
行政職員（区市町村）		3
行政職員（都）		
その他		
計	15	20

3 地域自立支援協議会の活動状況

(1) 地域自立支援協議会での協議事項（複数回答）

③ 地域移行・地域定着支援に関すること。

主に精神障害者の「居住と支援体制」をテーマに、グループ討議や好事例の共有を行い、地域移行に関する社会資源情報を確認するためのパンフレットを作成した。また、居住支援協議会との連携として、居住支援法人等との情報共有を行った。

④ 高齢者福祉サービスとの連携に関すること。

「高齢期・移行期の課題と支援を考える」をテーマとして、障害・高齢の双方向での支援者の情報共有を目指し、区内B型作業所の保護者会に出向き、共生型サービス事業所の見学会を企画した。

⑤ 医療と福祉の連携に関すること。

検討部会を年2回開催し、第1回では「18歳問題」をテーマとして、単独通学に至った事例報告及び移行期医療の課題についての検討を行った。第2回では「併行通園・移行支援」をテーマとして、児童発達支援事業所と保育園の併行通園事例報告及び障害児保育園の移行支援についての報告を行った。

⑦ 関係機関や他分野のネットワークに関すること。

④に記載のとおり、高齢者支援・介護保険施策分野との連携を行っている。

⑨ 障害者差別解消法や条例、権利擁護に関すること。

第3回本会にて、区の虐待通報の現状と対応状況を共有の上、虐待予防と養護者支援についてのグループ討議を行った。

⑩ 地域生活支援拠点等の整備に関すること。

専門部会として「地域生活支援拠点部会」を年度途中に立ち上げ、①緊急時対応②強度行動障害・知的地域移行の2つをテーマとしたワーキンググループにて協議を行った。

⑪ 障害福祉計画等に関すること。

計画部会にて検討及び協議を行い、その内容については本会に共有し協議を重ねた。

(2) 地域自立支援協議会としての役割（複数回答）

① 情報の顕在化

国や都からの通知内容の詳細等を説明し、共有している。

② 情報共有・情報発信

様々な分野からそれぞれの情報を持ち寄り、発信・共有する場となっている。

③ 分野を越えてのネットワークの構築

協議会自体が様々な分野・基幹からの代表が集まっており、ネットワーク構築の起点となっている。

⑤ 地域課題の整理

地域における課題、特に地域生活支援拠点の整備について現状の確認を行った。

⑥ 課題解決に向けての検討

地域生活支援拠点について、より実効性のある検討を進めるため、部会を立ち上げた。

⑦ 障害福祉計画等の進捗管理や調整

計画部会で検討された内容について、本会にて再度共有、協議している。

⑩ 権利擁護・虐待防止

本会にて虐待防止をテーマにグループ討議・検討を行ったほか、障害当事者が日頃感じている想いを一般区民等へ伝えるトークライブイベントを実施した。

(3) 地域自立支援協議会として把握している地域課題

ア 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）

① 相談支援の質及び量

対象者が自分らしく地域で暮らせるよう「意思決定支援における多職種連携」について議論を深めた。

④ 高齢福祉分野との連携

高齢・障害連携部会では、地域包括支援センターなど高齢者支援機関にも部会委員に入っていたいただき、高齢期への移行課題について共に検討している。杉並区で取り組んでいる共生型サービス（介護保険デイサービスが生活介護の指定取得）について、必要な方が利用できるように社会資源として周知している。

⑪ 地域移行・地域定着支援

精神障害者の退院後の居住及び支援体制の強化を課題として挙げ、社会資源情報のアクセス先をまとめたパンフレットの作成や居住支援協議会との情報共有を行った。

⑫ ライフステージを通じた支援

区内通所施設アンケートでは、通所者の高齢化により様々な課題が出された。高齢・障害連携部会として通所施設の保護者会で「ライフステージ（高齢期）における選択肢」など説明。その上で通所施設の職員・保護者も含め、部会活動として共生型サービスの見学会を行った。

イ 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

特になし。

4 地域自立支援協議会の活性化

(1) 法改正に伴う地域自立支援協議会の見直し等（複数回答）

⑤ 地域生活支援拠点等の整備、コーディネーターの配置等、地域生活支援拠点等の整備や機能の充実について検討・検証を行った。

専門部会として「地域生活支援拠点部会」を年度途中に立ち上げ、①緊急時対応②強度行動障害・知的地域移行の2つをテーマとしたワーキンググループにて協議を行った。

(2) 地域で生活する当事者の声の反映（複数回答）

- ② 協議会の設置要綱等に当事者委員の数を規定し、全体会や部会に一定数の当事者が参画するようにしている。

設置要綱の改正に伴い、当事者委員の人数制限を撤廃した。

- ⑤ 地域で生活する当事者に対してアンケート調査等を実施している。

障害者地域相談支援センターを利用する当事者に、協議会で話される予定の議題について事前にアンケート、インタビューを行った。

- ⑥ 障害のある人もない人も参加するイベント等を活用している。

令和6年12月1日に、自立支援協議会の役割を広く地域に知ってもらうこと及び障害者福祉を区民と共に考えることを目的に、地域自立支援協議会トークライブを実施した。

(3) ICTの活用（複数回答）

- ① 当事者等が集合形式での参加が難しい場合、ハイブリッド形式（集合とリモートの双方に対応した方法）で会議を実施

本会及び地域生活支援拠点部会にて、一部オンライン形式で会議を実施した。

- ② 会議録作成等に、音声認識による文字起こしツールを活用

協議会本会の音声録音を、議事録作成支援システムの活用により自動的にテキスト化し、会議録を作成している。

- ⑦ 調査・アンケート等でWeb回答できるフォームを用意

地域生活支援拠点部会にて実施したアンケート調査にWeb回答フォームを活用した。

5 地域移行・地域生活支援の取組

(1) 施設入所者・長期在院者等の実態把握（複数回答）

- ③ 入所施設や入院先の病院との連携を図ることで入所者等の意向を把握

長期入院中の精神障害者に対し、病院から地域移行の相談があった場合に保健センター保健師や生活保護ケースワーカーと同行訪問を行う。現状の病状や意向を確認し、退院後の支援体制について検討している。

(2) 利用しているサービス等（複数回答）

- ① 相談支援（地域移行支援など）

障害福祉サービスにおける地域移行支援、また、退院への動機づけや地域生活の具体的なイメージ作りに時間がかかる場合には区独自事業の「地域移行プレ相談事業」を利用。

- ② グループホーム等の体験利用

入居を前提とした体験入居や、地域移行支援利用中の体験宿泊。
東京都グループホーム活用型ショートステイ事業。区独自のグループホーム活用型ショートステイ事業。

- ③ ピアサポーターの活用

「地域移行プレ相談事業」にピアサポーターを活用している。